

第28回 名古屋市アジア・アジアパラ競技大会推進本部会議

次 第

日 時：令和8年5月11日（月）11:00～12:00

場 所：本庁舎2階 特別会議室

（中村区・中区以外の区はオンライン参加）

○ 議題

1 大会時における名古屋市及び関係機関の運営体制について

【資料1—1, 2, 3, 4, 5, 6, 7】

2 アジア・アジアパラ競技大会のレガシーについて

【資料2】

○ 報告事項

・アジア・アジアパラ競技大会の現状について

・競技日程等の公表について 【資料3—1】

・テストイベントについて 【資料3—2】

・第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会期間中の工事抑制に関するお願い

【資料3—3—1, 2】

・チケット販売について 【資料3—4】

・聖火リレーについて 【資料3—5】

・文化プログラム主催事業 各局区参画状況 【資料3—6】

・おもてなし関連事業について 【資料3—7】

・シティドレッシングについて 【資料3—8】

・フレンドシップ事業（地域住民向け・学校向け）について

【資料3—9—1, 2】

・選手市民交流事業について 【資料3—10】

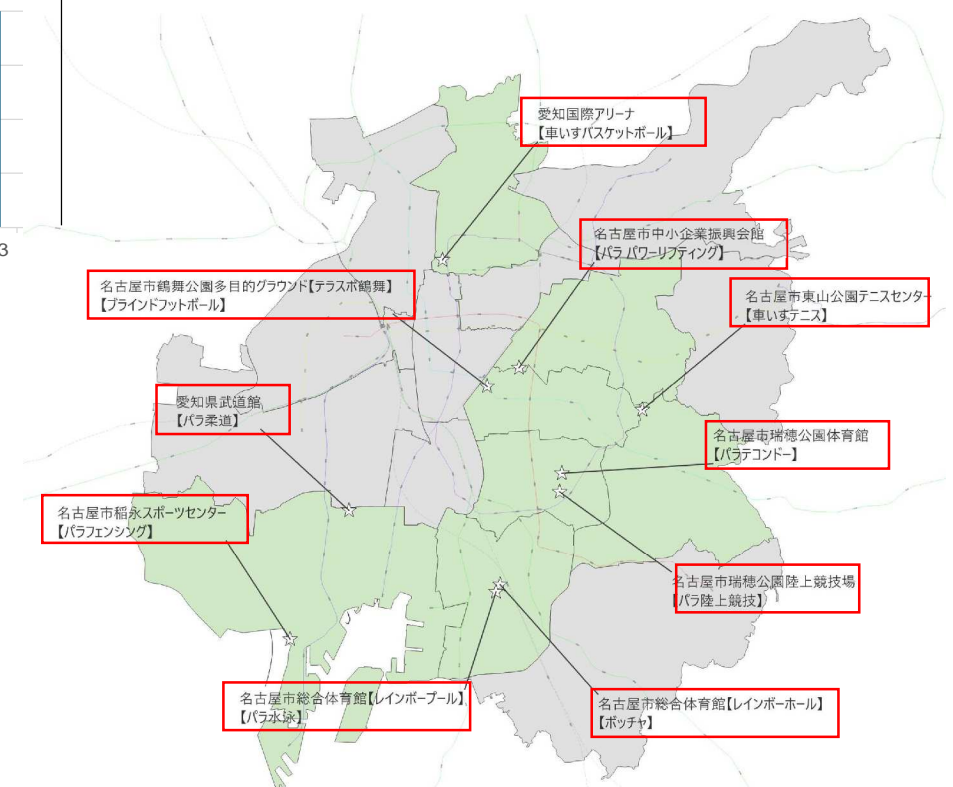
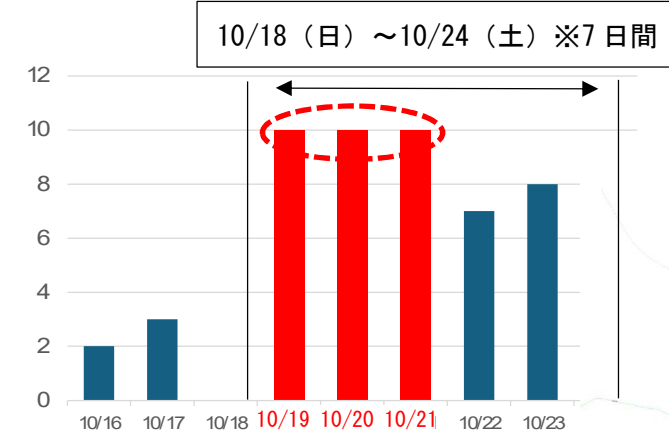
・学校観戦について 【資料3—11】

・大会において活動するボランティアについて 【資料3—12】

2. アジアパラ競技大会
(1) 競技日程について

■：競技日 ■：金メダル確定

競技 No.	競技	会場	所在区	種目数	競技日数	10/16	17	18	19	20	21	22	23	24
						金	土	日	月	火	水	木	金	土
	開会式/閉会式	瑞穂公園陸上競技場	瑞穂区	—	—			★						★
10	ブラインドフットボール	テラスポ鶴舞	昭和区	1	6	■	■	■	■	■	■	■	■	■
26	車いすバスケットボール	愛知国際アリーナ	北区	2	7	■	■	■	■	■	■	■	■	■
6	ボッチャ	レインボーホール	南区	11	7	■	■	■	■	■	■	■	■	■
12	パラ柔道	県武道館	港区	16	3				■	■	■	■	■	■
21	パラテコンドー	瑞穂公園体育館	瑞穂区	10	3				■	■	■	■	■	■
16	パラパワーリフティング	中小企業振興会館	千種区	23	6				■	■	■	■	■	■
28	パラフェンシング	稲永スポーツセンター	港区	21	6				■	■	■	■	■	■
2	パラ陸上	瑞穂公園陸上競技場	瑞穂区	156	6				■	■	■	■	■	■
18	パラ水泳	レインボープール	南区	130	5				■	■	■	■	■	■
31	車いすテニス	東山公園テニスセンター	天白区	6	5				■	■	■	■	■	■
				市内	376	種目								



最大稼働日 (10/19~10/21) の状況

(2) トピックス

① 種目数 ※金メダル数

【競技毎】 1. パラ陸上 156 (41.5%) 2. パラ水泳 130 (34.6%) 3. パラパワーリフティング 23 (6.1%)	【区毎】 1. 瑞穂区 166 (44.1%) 2. 南区 141 (37.5%) 3. 港区 37 (9.8%)
--	---

② 最初の競技：(全体) 10/16(金) 9時：パラバドミントン (一宮市)
(市内) 10/16(金) 10時：ブラインドフットボール (昭和区/テラスポ鶴舞)

③ 金メダルの決定

【最速】(全体) 大会2日目 (10/19(月))：パラパワーリフティング (千種区)
【最遅】(全体) 大会最終日 (10/24(土))：ボッチャ (南区)

④ 競技会場の最大稼働日：大会2~4日目(10/19~10/21) 市内10競技会場

3. 終わりに

- ・今回セッションスケジュールが公表されていない競技 (パデル・テックボール) 情報が入りましたら、随時お知らせします。
- ・各区や各施設での機運醸成に引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

以上

テストイベントについて

1. 概要

競技運営及び大会運営の能力を高めることを目的として 2025 年度から大会までの間にテストイベントを実施する。

2. 基本方針

競技団体が主催する既存大会を活用し、大会時に使用する会場にて各競技のテストイベントを実施する。また、適切な既存大会がない競技については、組織委員会主催で競技団体の模擬試合を行い、計時計測等のテストを実施する。

3. テスト内容

- ・大会の円滑な実施に向け、本番で使用する会場の施設設備、資機材や用具、システム等を用いて競技を行い、使用状況を確認して不具合の修正等を行う。
- ・各会場で会場・競技運営を担う人材に対し、本番を想定した研修・訓練を行う。

4. テストイベント実施競技数

現在のテストイベント実施競技数を以下に示す。

競技数及び競技会場一覧表（2026年5月1日時点）

大会名	全数		うち市内		うち市所有	
	競技数	競技会場数	競技数	競技会場数	競技数	競技会場数
アジア競技大会	41	48	13	15	14	10
アジアパラ競技大会	5	5	3	3	3	3

※パデル、テックボールはテストイベントの実施が未定

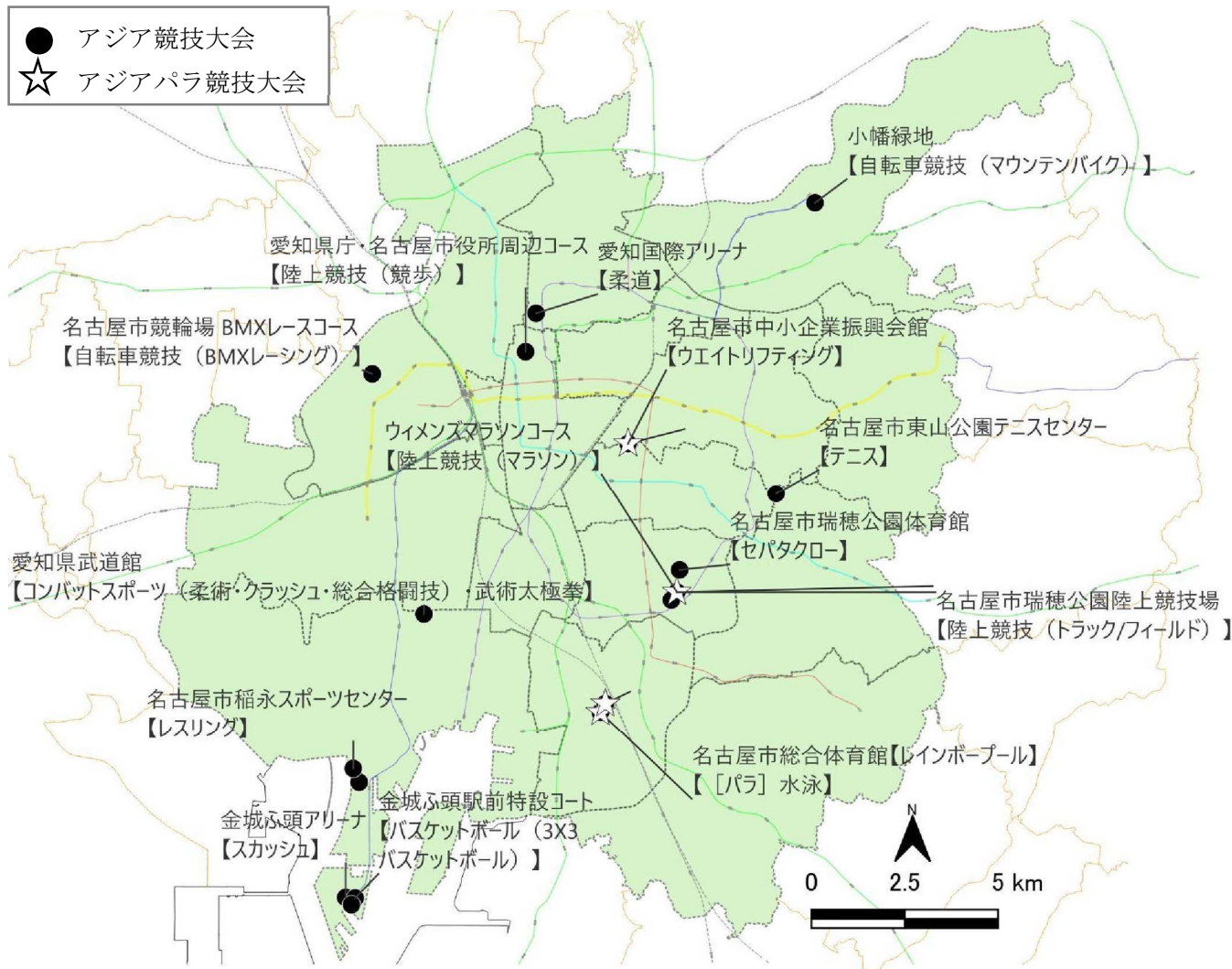
5. テストの形態

テスト形態	概要
競技団体主催大会	・競技団体が主催する大会を活用し、本番大会に従事する者が効率的に大会運営の経験を積むことを目的として実施する。
テクニカルリハーサル	・適当な競技団体主催大会の開催がない場合に、原則、本番大会のために設置、購入した施設、機材等を活用してテストを実施する。 ・競技団体に協力いただき、模擬試合等を実施することで、競技エリアの確認を中心にテストを行う。
大会演習	・競技団体主催大会の運営に影響を及ぼしかねない各部署の連携や大会運営の一連の流れ等を確認するために実施する。

6. 市内におけるテストイベント実施会場

別紙のとおり

＜テストイベント実施会場＞
（市内16競技／15会場）



○2025年度 実施済み

No.	競技 <種別（種目）>	競技会場	実施日			大会名	観客の有無	公表未公表	主催
25-1	パラ水泳	レインボープール	9/13	～	9/15	ジャパンパラ水泳競技大会	有	公表	日本パラスポーツ協会
25-2	自転車競技 <BMXレーシング>	名古屋競輪場 BMXレースコース	11/1	～	11/2	2025アジア自転車競技選手権大会- BMXレーシング	有	公表	アジア自転車競技連合/ (公財)日本自転車競技連盟
25-3	セパタクロー	瑞穂公園体育館	1/31	～	2/1	大会演習	有	公表	AINAGOC
25-4	陸上競技 (競歩)	県庁・市役所 周辺コース	2/21	～	2/21	愛知競歩競技会	有	公表	愛知陸上競技協会
25-5	柔道	愛知国際アリーナ	3/14	～	3/15	テクニカルリハーサル	無	公表	AINAGOC
25-6	自転車競技 <マウンテンバイク>	小幡緑地	3/15	～	3/15	Coupe du Japon マウンテンバイク大会	有	公表	公益財団法人日本自転車競技連盟、 愛知県自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグ
25-7	陸上競技 (マラソン)	ウイメンズマラソンコース	3/8	～	3/8	名古屋ウイメンズマラソン	有	公表	日本陸上競技連盟、 中日新聞社

○2026年度 実施予定

No.	競技 <種別（種目）>	競技会場	実施日			大会名	観客の有無	公表未公表	主催
26-1	武術太極拳	県武道館	5/9	～	5/10	2026年全国日本武術太極拳競技会	有	公表	公益社団法人日本武術太極拳連盟
26-2	スカッシュ	名古屋金城ふ頭アリーナ	5/14	～	5/17	スカッシュアジアカップ・ジャパン 2026/スカッシュ中部オープン	有	公表	(公社)日本スカッシュ協会及び日本スカッシュ協会中 部支部
26-3	ラグビー <ラグビー7s>	瑞穂公園ラグビー場	5/16	～	5/17	ウイメンズセブンズシリーズ2026 チャレンジトーナメント	有	公表	日本ラグビーフットボール協会
26-4	パラ陸上	瑞穂公園陸上競技場	5/16	～	5/17	2026ジャパンパラ陸上競技大会	有	公表	日本パラスポーツ協会
26-5	ウエイトリフティング	中企業振興会館	5/29	～	5/31	全日本選手権大会兼インターナシ ョナルフレンドシップトーナメント	有	公表	日本ウエイトリフティング協会
26-6	コンバットスポーツ <柔術>	県武道館	5/30	～	5/31	3rd JIAU REGIONAL CHAMPIONSHIP EAST ASIA	有	公表	Ju-Jitsu Asian Union
26-8	水泳 <水球>	レインボープール	6/6	～	6/8	日本選手権水球競技大会最終予選会	有	公表	日本水泳連盟
26-9	陸上競技 (トラック/フィールド)	瑞穂公園陸上競技場	6/12	～	6/14	第110回日本陸上競技選手権大会 兼 愛知・名古屋2026アジア競技大会 日 本代表選手権選考競技会	有	公表	日本陸上競技連盟
26-10	ポッチャ	レインボーホール	6/12	～	6/14	日本ポッチャ選手権大会近畿東海ブ ロック予選会	有	公表	一般社団法人日本ポッチャ協会
26-14	バスケットボール <バスケットボール>	愛知国際アリーナ	6/27	～	6/28	第81回愛知県バスケットボール選手 権大会兼第102回天皇杯・第93回皇后 杯全日本バスケットボール選手権大 会ファーストラウンド	有	公表	(公財)日本バスケットボール協会 (一財)愛知県バスケットボール協会
26-15	レスリング	稲永スポーツセンター	7/11	～	7/12	全日本社会人レスリング選手権大会	有	公表	日本社会人レスリング連盟

：日本代表選考も兼ねた大会

シティドレッシングについて

1 概要

大会に向けた機運醸成のため、知的財産（エンブレム、コアグラフィックス、マスコット等）を活用し、競技会場周辺や街中を大会色に飾り付ける装飾するもの

2 令和7年度実施内容

○駅・車両

場所	名古屋駅・栄駅・金山駅・瑞穂運動場東駅/西駅・新瑞橋駅	地下鉄車両	SRT 停留所	市バス車両	ごみ収集車車両
内容	階段ラッピング・壁面ポスター	車内広告（中吊り・額面・横枠）	サイネージ広告	車両ラッピング	車両ラッピング
	 <p>・ポスターは瑞穂3駅のみ ・金山は2月までカラーコルトン</p>			 <p>野並営業所系統 港明営業所系統</p>	 <p>R8 瑞穂区モデル事業2 槽式プレス車</p>

○観光名所

場所	オアシス 21	ガーデンふ頭・金城ふ頭	東山動植物園	金シャチ横丁
内容	柱巻きラッピング	横断幕、懸垂幕	大看板	マスコットパネル
				

○市施設等

場所	区役所	各局区室所管施設	競技会場	工事現場（名駅西口広場）	本庁舎
内容	エレベーターラッピング、マスコットパネル、懸垂幕	のぼり	横断幕	仮囲いラッピング	大看板、マスコットパネル
					

3 令和8年度実施予定

瑞穂3駅からのラストマイル電柱広告（実施済み）、八事斎場工事現場の仮囲いラッピング（実施済み）、大津通・若宮大通など横断歩道橋35箇所への横断幕、東山公園・名城公園など公園緑地20箇所への横断幕、SRT車両ラッピング、地下鉄車両ラッピング、地下鉄車両内広告ジャック、市バス・名鉄バス車両ラッピング、金山駅前花壇ラッピング等

フレンドシップ事業（地域住民向け）について

1 事業目的

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に向けて、地域住民向けに「大会を知る（スポーツ志向）」、「国際理解」、「障害者理解」をテーマとした講座を開催することで、地域住民の多様性理解や共生社会への意識を高めるとともに、大会開催への機運を高めることを目指すもの。

2 事業概要

(1) 実施主体：名古屋市内の 16 区役所（※実施は任意） 継続

○実施期間：令和 7 年度～令和 8 年度（2 か年で各テーマ 1 区 1 回）

○実施内容：区ごとに①～③をテーマとした講座を開催

※全体調整、費用負担は総務局アジア・アジアパラ競技大会推進課が行う

※各事業の具体的な講演内容は区と講師で調整する

内 容	令和 7 年度	令和 8 年度 (予定)
① 大会を知る（アスリート訪問）	15 回	1 回
② 国際理解（NIC・JICA）	13 回	3 回
③ 障害者理解（あいさポーター養成研修）	10 回	6 回

(2) 実施主体：総務局アジア・アジアパラ競技大会推進課 新規

各区実施主体の講座はその多くが令和 7 年度に実施されたため、大会直前期に大会の象徴的な区を実施場所として、アスリートによる地域訪問と「国際理解」「障害者理解」をテーマとした講座を組み合わせたイベントを実施する。

○実施時期：令和 8 年夏休み期間中

○実施場所：瑞穂区および港区

○参加対象：名古屋市内に在住・在学・在勤の方

○実施内容：瑞穂区では、アスリートによる地域訪問×障害者理解をテーマに実施
港区では、アスリートによる地域訪問×国際理解をテーマに実施

3 活用事業

①大会を知る

アスリートによる地域訪問

アスリートが地域を訪問し、スポーツの楽しさや価値、共生社会の大切さなどを伝えるとともに、アジア競技大会・アジアパラ競技大会への興味・関心を喚起するための講演や競技体験を実施。

②国際理解 ※アまたはイを選択

ア NIC 地球市民教室

アジアの国と地域出身の外国人講師を派遣し、出身国の文化などの講演やワークショップを実施。

イ JICA 国際協力出前講座

開発途上国への国際協力を行う JICA 海外協力隊経験者を講師として派遣し、アジア地域での活動体験や、国際協力、開発途上国についての講義を実施。

③障害者理解

障害者理解に関する講師派遣事業（企業、学校、団体向けあいさポーター養成研修）

障害のある人や家族に障害者がいる人などを講師として派遣し、障害の特性を理解して、障害のある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践する「あいさポーター」を養成する研修を実施。

フレンドシップ事業

体験メニュー

大会を知る
国際理解
障害者理解



大会参加メニュー

選手市民交流事業

フレンドシップ事業（学校向け）について

1 事業目的

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に向けて、小学生・中学生・高校生向けに「大会を知る（スポーツ志向）」、「国際理解」、「障害者理解」について体験しながら学ぶ機会を提供することで、児童生徒の多様性理解や共生社会への意識を高めるとともに、大会開催への機運を高め、大会参加に繋げるもの。

2 事業概要

○実施期間：令和7年度～令和8年度

○実施主体：名古屋市立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
・会場確保、講師との調整、当日の運営など

○実施内容：①～③をテーマとした講座について、学校の手挙げ式で実施校を決定。
※全体調整、費用負担は総務局アジア・アジアパラ競技大会推進課が行い、学校への周知等について教育委員会義務教育課と連携
※各事業の具体的な講座内容は学校と講師で調整する

内 容	令和7年度	令和8年度 (予定)
① アスリートによる学校訪問	16回	20回
② NIC 地球市民教室	5回	20回
③ JICA 国際協力出前授業	4回	20回

3 活用事業

体験メニュー 拡充

① アスリートによる学校訪問

アスリートが学校を訪問し、スポーツの楽しさや価値、共生社会の大切さなどを児童生徒に伝えるとともに、アジア競技大会・アジアパラ競技大会への興味・関心を喚起するための講演や競技体験を実施。

② NIC 地球市民教室

アジア地域出身の外国人講師が学校を訪問し、出身国の文化などの講演やワークショップなどを実施し、児童生徒と交流する。

③ JICA 国際協力出前授業

開発途上国への国際協力を行う JICA 海外協力隊経験者が学校を訪問し、アジア地域での活動体験や、国際協力、開発途上国についての講義を行い、児童生徒の国際理解を促進する。

座学メニュー 継続

○学習教材（動画教材、補助教材）

小学生向けと中学生・高校生向けに、大会への興味・関心を促す内容と国際理解を深める内容の動画教材と補助教材を県市合同で作成し、学校現場に展開。

○「I' mPOSSIBLE 日本版」の活用

共生社会について学んでいただくため、JPC 作成教材を学校現場に展開。パラスポーツを通じて、様々な人たちがともに活躍できる社会をつくっていくための考え方を学んでいただく。

（参考）関連事業

○私たちの「推し人・推し国」プロジェクト（教育委員会事務局） 新規

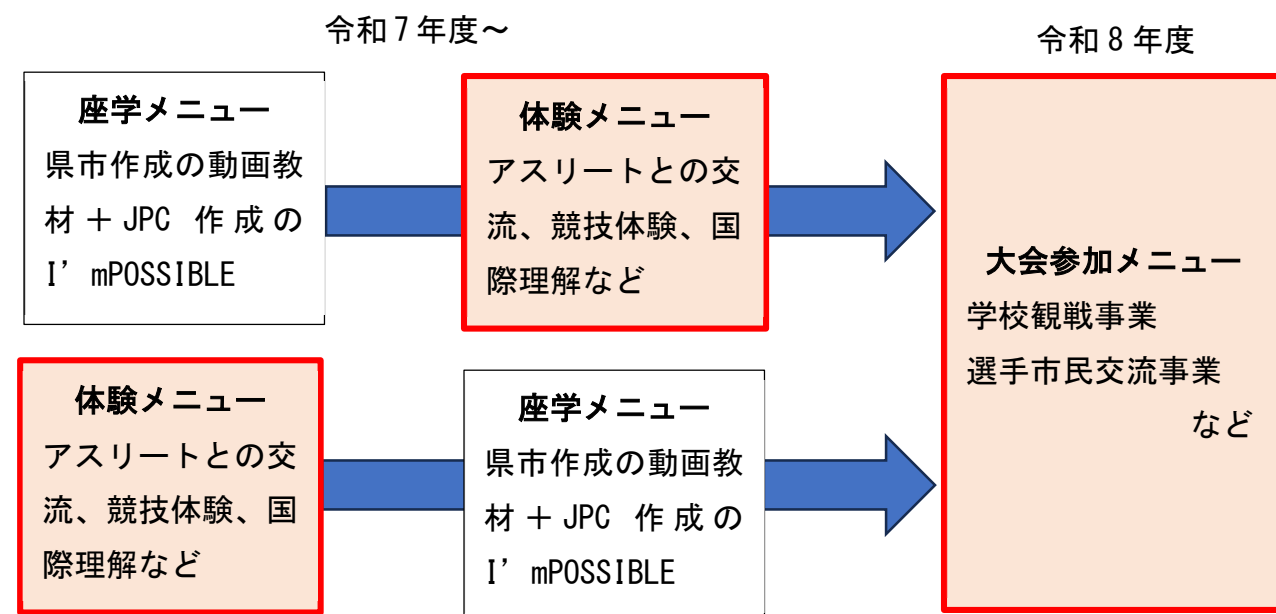
障害者・外国人など多様な生き方・考え方やアジア各国の文化、言語、スポーツなどについて、各校園がテーマを決めて探求したり、体験・遊びを通じて学んだりする。

○障害者スポーツ体験出前授業（スポーツ市民局） 継続

小学校及び中学校の通常学級を対象にパラスポーツ指導員を派遣し、競技体験を通じて、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害当事者への理解を促進する。

○レッツ！パラスポーツ☆（教育委員会事務局） 継続

小学校及び中学校の特別支援学級・特別支援学校を対象にパラスポーツ指導員を派遣し、スポーツの楽しさを伝え、将来的な生涯スポーツへの参加意欲を促進する。



選手市民交流事業について

1 事業目的

本市域にアジア各国・地域を代表する選手がお越しになることを絶好の機会と捉え、大会に出場する各国・地域の選手と児童生徒や地域住民が、スポーツなどを通じた普段では得難い交流をすることができる機会を創出し、スポーツ振興、国際・異文化理解、障害者理解につなげるもの。

2 事業概要

(1) 実施期間

主に大会期間中及びその前後1週間程度での実施を想定

(2) 交流対象

- ・アジア各国の選手等：各学校から交流したいと回答のあった国・地域と、フレンドシップ事業等で学んだ国・地域（合計23国・地域）
- ・児童生徒：交流可能な国・地域の目途が立ったら、学校に希望を募る予定
- ・地域住民：交流実施校の所在学区を中心に声かけを予定

(3) 実施回数

1区1回の計16回程度

(4) 実施場所

名古屋市立学校または区役所（公所）

(5) 交流内容（イメージ）

- ・国や競技の紹介
- ・ウォーミングアップ（準備運動やアイスブレイク）
- ・競技体験
- ・児童生徒及び地域住民による日本文化の披露やお礼

3 各国・地域との調整状況

(1) 依頼方法

組織委員会及びスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム（SFTC）（※）を通じて23の国・地域へ依頼

(2) 依頼条件等

① 希望する選手

原則、市内で実施される競技の選手

② 交流希望人数

1回の交流につき、選手及びスタッフ1名～5名

③ その他条件面

交流実施に必要な宿泊、食事、移動等に要する費用は名古屋市が負担

（※）外務省やスポーツ庁を中心とした「運営委員会」と、SFTの趣旨に賛同しスポーツ国際交流・協力を携わる国内スポーツ関連団体や地方公共団体、民間企業、教育・研究機関などからなる「コンソーシアム会員」から構成されたネットワーク

(3) 回答状況

10か国から参加意向の回答あり（令和8年4月27時点）

- 赤枠・・・交流を依頼した国・地域
- ★・・・参加意向あり
- ×・・・調整困難
- 無印・・・回答待ち

アジア競技大会・アジアパラ競技大会に参加する45の国と地域

東アジア	東南アジア	南アジア	中央アジア	西アジア
中華人民共和国	ブルネイ・ダルサラーム	× アフガニスタン	カザフスタン	バーレーン
朝鮮民主主義人民共和国	★ ミャンマー	★ バングラデシュ	キルギス	× イラン・イスラム共和国
ホンコン・チャイナ	インドネシア	★ ブータン	タジキスタン	イラク
日本	ラオス人民民主共和国	★ インド	トルクメニスタン	ヨルダン
大韓民国	★ マレーシア	★ モルディブ	★ ウズベキスタン	クウェート
マカオ	フィリピン	★ ネパール		レバノン
★ モンゴル	★ シンガポール	パキスタン		オマーン
チャイニーズ・タイペイ	タイ	スリランカ		パレスチナ
	ベトナム			カタール
	カンボジア			サウジアラビア
	東ティモール			シリア・アラブ共和国
				アラブ首長国連邦
				イエメン

4 スケジュール（想定）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
組織委員会、SFTC調整	入札	契約締結	区政協	学区連協		アジア・アジアパラ競技大会
		校長会	実施校決定	学校調整		

※各国・地域との調整状況により、スケジュールは変更となる場合がある

学校観戦について

1 概要

アジア・アジアパラ競技大会においてアスリートのパフォーマンスを間近で見るとは、子どもたちがスポーツの素晴らしさや多様性を学ぶことができる絶好の機会であり、観戦の実体験は一人一人の心に忘れられない思い出となる。

そこで、名古屋市立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、学校活動としての競技観戦の機会を提供するもの。

2 事業内容

(1) 対象学校

名古屋市立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

※名古屋市立学校以外の愛知県内の国公立学校については愛知県が対応

(2) 対象競技

愛知県内で実施されるすべての競技

※ただし、座席がないなど観戦場所をあらかじめ設定することができない競技（マラソン、競歩、マウンテンバイク等）を除く

(3) 参加校の決定方法

- ・各学校の判断による希望制
- ・観戦を希望する児童生徒及び日にち・競技を募り、組織委員会と座席割当を調整の上、参加校を決定
- ・これまで実施希望調査を2回実施
令和7年12月 第1回希望調査→2月12日に該当校へ内定通知を発送
令和8年2月 第2回希望調査→現在、座席割当調整中

(4) 来場方法

- ・原則、公共交通機関
- ・アジアパラ競技大会については、学校からの希望を踏まえ、名古屋市内会場に限り学校観戦用バスを用意

3 学校観戦希望・割当状況（R8.4.20時点）

	母数 (R7.5.1時点)		希望数					
	学校数	人数	希望数		割当済		調整中	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
小	261校	107,280人	212校	68,340人	184校	53,909人	69校	14,431人
中	113校	49,812人	75校	25,069人	66校	22,249人	12校	2,820人
高	15校	12,179人	12校	3,390人	10校	2,190人	7校	1,200人
特	6校	1,347人	2校	380人	2校	380人	0校	0人
計	395校	170,618人	301校	97,179人	262校※	78,728人	88校※	18,451人

※重複する学校があるため、合計数は希望数と一致しない

4 学校観戦用バスの状況

- ・第1回希望調査において学校観戦用バスを希望した学校分（44校、11,854人）は、全校分契約済み。
- ・第2回希望調査において学校観戦用バスを希望した学校分（22校、3,320人）は、現在確保に向けて調整中。